

アワプラジオ通信【2014年11月号】

■発行元 アワプラジオ クリエイティブ ■102-0084 東京都千代田区二番町 5-2 麴町駅プラザ 901
■E-Mail: awapuradio@gmail.com ■TEL: 03-6868-5129 ■Web: <http://awapuradio.com/>

東京から故郷の岐阜を応援する活動

勝手に岐阜県応援企画「にゃんぼぼ」公式サイト 主宰 吉田了介さんに聞く



岐阜県加茂郡出身。フリーランスのグラフィックデザイナーの傍ら、ホームヘルパーや小児病院でのボランティア、個展の開催など幅広く活動。

■公式サイト <http://www3.hp-ez.com/hp/nyanbobo/>

—公式サイトを立ち上げた経緯について教えてください。

(童謡の)『故郷』の舞台となった長野県飯山に行ったとき、旅館のご主人が車でいろいろなところへ連れて行ってくれました。そのときに自分の故郷のことを自慢されるんですね。それを聞いていてとてもうらやましくなりました。僕は故郷の岐阜とは四半世紀以上前に東京へ出ていて、年末年始とお盆に帰るくらいで縁が切れていて。

それから何年か経って父親が亡くなったときに姉と初めて岐阜市を観光しました。それまで知らなかった「岐阜の大仏」と古い町並み。金華山にも初めて登って、岐阜城からの景色がまさに織田信長が天下統一をめざした濃尾平野が広がるすごくきれいな景色で。岐阜ってこんなにいいところなのに知られていないし観光客も少なくてもったいない。何か出来ないかなと思ったことがきっかけです。

岐阜を大きく分けると美濃地方と飛騨地方。僕は美濃出身ですし、全国的に知られた観光地が多い飛騨ではなく、まずは美濃を応援したいと思いました。最初はアニメをつくりたいと思いましたが、個人で行うには無謀だと発想を変えてカルタをつくりまし

た。群馬に上毛かるたという子どもも大人も知っているカルタがあります。地元の人でもあまり知らないいい場所や観光地、文化を『にゃんぼぼ』(写真)というキャラクターに沿ってカルタにしました。

田舎の友達に教えてもらって“あいうえお”にして。一度つくって広めたら自治体の人に「これはうちではなくてとなりの町のことだよ」などと言われて急につくり直したりして(笑)。やっていくうちに自分も勉強になり、岐阜の歴史に詳しくなりました。

飛騨地方の『さるぼぼ』(にゃんぼぼのモデル)には著作権があつて、無料であれば自由に使ってほしいという承諾は得ているのですが、商品化となると著作権を納めなければいけません。ですから商品化については難しく、大きな話になってしまいましたね。

—合唱曲『この街の夢～岐阜市へ～』のことについてご紹介ください。

岐阜にはヤイリギターという世界的に有名なギターの制作会社があります。そこで10年近く前に『一五一会』という4弦ギターが沖縄のバンド『BEGIN』との共同企画でつくられました。そのギターのボディを僕の同級生がやっている木工所が発注を受けてつくっていて、その関係で一本もらいました。それまでギターは弾いたこともなかったのですが、せっかくだからと始めました。好きな曲の伴奏が取れるようになって、そのうちにイベントなどで演奏してみようかということになって。保育士をしているかみさんがイベントのためにオリジナル曲をつくったのを見て、自分でもつくれないかなと思いました。ひらめいた音をビデオなどに録って伴奏を付けて、音楽をやっている友人に合唱曲に編曲して楽譜にしてみました。

歌詞はカルタが出来たときに岐阜市へ行っているところをまわったとき、良いことも言われたけれどグサッくすることも言われて。少し疲れてインフルエンザにかかって寝ていたのですが、そのと

きに浮かんできて這うようにして書き留めました。
熱にうなされてつくった曲（笑）。

いわゆるご当地ソングというのは地名が出てくる
と思うのですが、そういうものに縛られず「金華山
の岐阜城」は「山の上の城」、「長良川」は「平野に
流れる川面」というような歌詞にしました。そうす
ることで岐阜市以外の方が聴いても、自分が見てき
た景色が浮かぶのではないかと。最初にうらやまし
いと思った長野県飯山の『故郷』にも地名は出てき
ません。

—歌ってくれた『ながら児童合唱団』とはどうい
うつながりがあったのですか。

ネットで調べて送って見たら、ながら児童合唱団
の育成会という親の会の方から返事をいただきました。
4月に定期演奏会を聴きに行きまして代表の方
とお会いして、それから連絡を取り合っていました。
向こうはお忙しいので調整をしていたらこの時期に
なりました。

メンバーが100人くらいのとても礼儀正しい合唱
団です。まず練習を聴きに行かせていただいたので
すが、小さい子から大学生までのメンバーで歌って
もらったときはすごく感動しました。

本番の録音では小学校5、6年生以上の子たちでや
りました。当初は公共のスタジオを借りたのですが、
そこではどうしても電車の通過音が入ってしまい録
音に適していませんでした。そこで急遽、地元の劇
団はぐるまというところの稽古場でプロの方に録音
をサポートしていただいで行くことになりました。

—吉田さんが育った頃の岐阜といま東京から見た
岐阜の違いとは何でしょうか。

子どもの頃、年に一度は連れて行ってもらう岐阜
市は何でも揃う大都市でした。デパートや華やかな
柳ヶ瀬商店街。人ごみでアメ横みたいだった駅前の
繊維問屋街。どの地方もそうですが、今は駅の近く
よりも郊外のショッピングモールにお客さんを持っ
ていかれています。あとは立地が名古屋から近くて、
名古屋のベッドタウンという位置づけが強くなって
います。それはそれで別に構わないと思うのですが。

柳ヶ瀬商店街は今もいろいろとがんばっています
よね。ゆるキャラや岐阜は口裂け女の発祥の地なの
ですが、夏にはお化け屋敷のイベントも結構話題に
なっています。岐阜市を足がかりに岐阜全体をもっ
と活気づけたいという思いがありました。もっとい
えば日本全体ということになるのでしょうか。

—今後取り組んでみたいことはありますか。

まずはいまやっていることを地道にやっていくし
かないと思っています。やっぱり一人の力は小さい
ですから、それに協力してくれる人がいて一歩ずつ、
少しずつ。元々この企画は3年くらい前に立ち上げ
て、転びながらやってきたものなので無理せずゆっ
くり進めていこうかなというところはあります。

お金にならないことばかりやっていると言われま
すね。思いついたら動かざるを得ない性分という
ところがあって、それでつまづくことも多々ありま
すが（笑）。

※この記事の基となった番組音声はこちら

<http://youtu.be/SX4EUoVLDcw>

コラム「色即是空」／阿部美知子

私と音楽（其の二）

私が徳永英明さんの曲に出会って25年くらいになり
ます。初めて耳に入ってきた『レイニーブルー』。何と美
しい詩とメロディと声でしょう。それを聴いた私はすぐにレ
コード店に走りベストアルバム『イントロ』を買い求めま
した。そしてジャケットなどの写真を見て、彼が八重歯の
魅力的な今でいうところの「イケメン」である事を知った
のです。

初めて行った山口市民会館での「ジャスティスコンサ
ート」。オープニングで黒のフード付きのマントを着た彼が
目の前に現れ曲が始まったらそのマントを脱ぎ捨て下か
ら目の覚める様なうす紫のスーツが現れたのは今でも忘
れられません。それから私は主に娘を伴っていける範囲の
コンサート「山口」「徳山」「福岡」「広島」「松山」「倉敷」
と足を運んだものです。

特に一度広島であった時など、息子に当時の彼と同じメ
ッシュを入れたヘアスタイルにさせて、私は和服を着て出
かけました。さすがに目立ったのでしょうか。ステージから
こちらのほうへタオルを投げてもらったのですが、横の人
にとられてしまいました。

それから月日が流れ、彼はカバー曲を収録したアルバム
『ヴォーカリスト』シリーズが大ヒット。今では紅白の常
連歌手になっています。いつまでもあの透きとおるような
ハイトーンを聴かせてもらいたいものです。

1948年、愛知県でフランス人の父と日本人の母との間に生ま
れる。亡き夫から引き継いだ飲食店をたたんだ後の97年頃か
らうつ病を患い、現在は障害者手帳を持つ。東野圭吾や横山秀
夫などのミステリー小説を読むのが趣味。阪神タイガースのフ
アン。山口県内の福祉施設で生活している。

番組・イベント情報

■東京ラブレター（毎週木曜日・21：00～21：30）

首都圏で活動するNPOやNGO、市民グループや個人の方を紹介する番組です。

●11月のオンエア【6日、13日、20日、27日】

「世界のヒバクシャを撮り続けている写真家の写真展示と貸出しを行う活動」

NPO法人 世界ヒバクシャ展

事務局長 安在尚人さんに聞く

ナビゲーター:あべこう一、高木祥衣(OurPlanet-TV)

●番組の聴き方

「サイマルラジオ」(<http://www.simulradio.jp/>)にアクセス→「近畿」から「FMわいわい」を選択

スマホやipadからはアプリ「TuneIn Radio」をダウンロード。「FMYY」を選択してお聴きください。

●東京ラブレターのページ（過去の放送が聴けます）

<http://awapuradio.com/awapuradio/tokyoloveletter/>

■番組アップロード情報

●『都会に住みながら自然とつながっていく』

都市農業実践者 アトゥールさんに聞く

音声はこちら <http://youtu.be/GbcmoG4XIyg>

●【公開収録】たまには、ふらっと in 亀戸中央公園

(パーソナリティ: 浅井優・松本亜希子)

音声はこちら <http://youtu.be/qq6bmfNko7I>

■あべこう一コンサート情報

●2014.11.8（土）東京行灯祭（東京・中野）

場所: 川島商店街「C地点」（中野区弥生町3-7-7 甲州

屋酒店付近・地下鉄「中野新橋駅」8分）

※観覧無料。あべの出番は19:00頃を予定しています。

ウェブサイトはこちら

<http://tokyolanternfestival.jp/>

●2014.11.9（日）板橋わいわい祭り（東京・板橋）

場所: 板橋区平和公園（東武東上線「上板橋駅」5分）

※観覧無料。あべの出番は12:00頃を予定しています。

フェイスブックページはこちら

<http://on.fb.me/1wjaZmL>

■パーソナリティ西澤尚美の個人企画

『農うさぎ農園コラボワークショップ』

自然農畑で土に触れ、日ごろのストレスや疲れを土に還し簡単な心と身体の手当てで心身をゆるめて解放。さらに表現ワークのゲームで表現力、感覚力を磨きます。自然の中で行うことによって、土の感触、風の音、空の色、植物の香り、空間の感覚など、五感すべてから、私たちの“本質”の部分に働きかけます。

日時: 11月1日（土）13:00～16:00

場所: 京王相模原線「京王堀之内駅」改札口先、左側のコンビニ前集合

内容: 簡単な畑作業

担当: あとう一井上（自然農法家・占い師）

表現ワーク

担当: 西澤尚美（役者・ワークショップファシリテーター）

心と身体のワーク

担当: 宮之原美緒（アロマ・ことだまセラピスト、和みのヨーガインストラクター）

参加費: 3000円（学生2000円）※要予約

持参するもの: 軍手、帽子、飲み物、ビニール袋、汚れてもいい靴、ウェットティッシュがあると便利です。

※駅から車で移動しますので時間厳守をお願いします。（徒歩20分くらいの場所です）。

※雨天の場合は11月2日（日）に変更します。

※暖かい服装でお越しください。

●フェイスブックのイベントページ

<http://on.fb.me/11VjZFP>

●予約や問い合わせ

happynaouest@yahoo.co.jp（西澤尚美）

PR情報

■「アワプラジオのメールマガジン」を発行しています。

購読は無料。ぜひ登録をよろしくお願いします。

●登録はこちらから

（「アワプラジオのメールマガジン」で検索）

<http://www.mag2.com/m/0001627648.html>

■アーティスト・表現者向けのコーチングセミナーを開催

自分が表現活動で本当に実現したいことは何なのか。それによって取るべき方法も変わってきます。潜在意識の中にある自分の思いを知って「行き先」を明確にすること。そのためのコーチングセミナーを開催します。関心のある方であればどなたでもご参加いただけます。

日時: 2014年11月14日（金）19:30～21:00

会場: ちよだボランティアセンター3階C会議室

（JR「水道橋駅」東口5分・地下鉄「神保町駅」A5出口5分）

講師: 阿部浩一（コーチ）

資料代: 1000円

※要事前申し込み。10名程度のお部屋ですので先着順とさせていただきます。参加者お一人の場合でも予定どおり開催いたします。

問い合わせ&申し込み

awapuradio@gmail.com/03-6868-5129（阿部）

※件名に「コーチングセミナー参加」と入れて本文にお名前、電話番号、メールアドレスをご記入ください。

●詳細はこちら

<http://awapuradio.com/2014/10/23/141114/>

本の紹介

天空の蜂 (1998年11月)

東野圭吾 著・講談社文庫・838円(税別)



原子力発電所の真上でホバリングするのは自衛隊から奪取された一機の大型無人操縦ヘリコプター。爆薬を積んだヘリを原発の上に落とす代わりに犯人が要求した内容は「日本国内すべての原発をなくす」こと。ヘリの燃料が尽きる前に、政府は、国民は、なにを決断すべきか。

著者は犯人に「沈黙する群衆に原子炉のことを忘れさせてはならない」と警告させている。原発の存在について、ある方が良いのか、ない方が良いのか、その議論をする前に私たちはもっと「関心」を持つべきではないだろうか。恥ずかしながら私自身「沈黙する群衆」の一人で、そのうえ原発についての知識がないため良し悪しについての意見すらも持てない。だがそれで本当に良いのだろうか？

この作品を通して、原発やその在り方に対する気持ちに変化が起きたことは確かだ。そしてそれが大切な一歩であると感じている。

著者はこうも書いている。「彼等—沈黙する群衆—に道を選ばせねばならない」誰が、誰のために、この国のあるべき姿を決めるのか。今まで原発に関心を持てなかった人にこそ読んで欲しい一冊だ。(浅香友理)

おじさんの哲学 (2014年4月)

永江朗 著・原書房・1800円(税別)

日本では平均寿命も伸びて、孫がいるような年齢の人たちもみんな若々しい。縁側でお茶をすすりながら孫と遊ぶおじいちゃんやおばあちゃんというような風景は今やおとぎ話の世界だ。

大手メディアが発信する情報の中には、特に消費文化を中心として若いほうに値打ちがあつて、年を取ったほうが劣っているというような空気が感じられるもの

も多い。見た目も内面も若々しくいたいというのも良いけれど、社会全体が大人になることを拒んでいるようなそんな感じもする。

そんな子どもと大人の間みたいな人が多い社会にあつて「叔父の力が必要だ」と説くのが本書である。著者は“叔父さんの存在”ということに「距離のとりかたが難しい」父親ではなく、「相談しやすいけれども、経験値が足りないから、いまひとつ頼りにならない」兄でもない存在であるとする。そしてその叔父さんの存在である人物として、内田樹、伊丹十三といった名前を挙げてさまざまな角度から叔父さんの存在についてひも解く。

何を以って成熟した大人と呼べるのかは定義づけが難しいところだが、お金は稼げても従順な羊のような存在であつたり、権威を笠に着た小役人のような人物などであつたりということはなさそうである。憲法の解釈を変えて戦争のできる国をつくらうとするような人物が権力のトップに座るような国に叔父の力を。(阿部浩一)



ファンクラブ“Oasis” 会員募集

■サポーター会員になる(お申し込みの上、下記の口座へ年会費をご入金ください)。

【入会金0円 年会費4200円】 ※毎月「アワプラジオ通信」をお送りします。

■郵便振替・銀行振込で寄付する(みなさまの温かいご支援を下記の口座までよろしくお願いいたします)。

【郵便振替】

郵便振替口座 15530-3969671
名義 阿部浩一

【銀行振込】

中央労働金庫 本店営業部
普通 3113628
名義 アワプラジオ 事務局長 阿部浩一

三菱東京UFJ銀行 インターネット支店
普通 3772395
名義 阿部浩一

申し込み・お問い合わせ

awapuradio@gmail.com 03-6868-5129 (担当:阿部)



編集後記

先日、故郷に住む同級生の友人から電話がありました。同級生たちの間で私が死んだといううわさが流れていて恐る恐る電話をかけてきたとのことでした。発信源と思われる別の同級生が冠婚葬祭に関連する会社に勤めているということもうわさの信憑性を高めていたようでした。数日置いて同じ友人から亡くなったのは中学校で同級生だった女性だと聞きました。最初はそれがなぜ私に結びつい

たのだろうかと思議に思ったのですが、中学生の頃、同級生の女子たちが呼んでいた彼女のあだ名と私のあだ名の響きがよく似ていることに気がきました。40歳を待たずに逝った彼女。中学を卒業後に一度だけ会ったきりで、もう20年以上会っていませんでした。過去や未来にとらわれすぎず今日一日を大切にしなければ。制服姿の彼女を思い出しながら考えました。(阿部浩一)